

「きれい、こんななんだつた、こんななんだつた」展開例

1 主題名 つなげていきたい想い【内容事項4ー（8）郷土愛】

資料名 「きれい、こんななんだつた、こんななんだつた」

2 本 時

(1) ねらい 思いやりについて考え、地域社会の一員としての自覚を高める。

(2) 実 際

過程	主な学習活動と予想される反応	時間	教師の働きかけ
気付く	1 亂れたトイレのスリッパの写真を見て、感じたことを発表する。 • 並んでいない • 次の人が使いづらい	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な場面の写真を提示し、興味・関心が引き出せるようにする。感想を自由に発表させ、多くの意見を引き出すようにする。
	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 人を思いやるとはどういうことだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> • 親切にすること • やさしくすること 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 意図的指名を行い、意見を引き出し、学習課題について全員で共有することができるようする。
じらえる	3 資料を読み、「思いやり」に関わる場面に線を引く。 4 線を引いたところを発表し、物語のあらすじを確認する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が資料を読む。 ○ 線を引いたところを発表させながらあらすじを確認する。
深める	5 中心発問について考える。 「『きれい、こんななんだつた、こんななんだつた』というおばあさんの言葉を聞いて、僕はどんな気持ちになったのだろう。」 <ul style="list-style-type: none"> • ごみ拾いを続けてよかった。 • おばあさんが喜んでくれてうれしい。 6 ペア、グループで意見交換し、発表する。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人で考えさせた後、意見を交換させ、発表させる。 ○ 自分の考えをまとめることのできない生徒には個別にかかわるようにする。 ○ グループでどのようなことが話題となったかを発表する。
振り返る	7 自分のこととして考える。 「もし自分だったら・・・ごみ拾いをする、しない」 《する》……自分たちの地域だから。 《しない》…自分にはできない。 8 ペア、グループで意見交換し、発表する。	17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人で考えさせた後、意見交換させ、発表させる。 ○ 自分かそう考える理由についても発表させるようする。 ○ 地域を大切にしたいという気持ちを共有できるような展開を意識する。
つなげる	9 資料の主人公の現在のビデオを見る。 「主人公の若者はどんな気持ちでごみ拾いを始めたのだろうか。」 10 授業の感想を書く。	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ拾いを始めた若者のビデオを見せ、感想を発表させる。 ○ 個人で感想をまとめさせる。



- 自分たちの環境は自分たちでつくり、守っていくことの大切さに気付かせるとともに、環境をつくってくださった地域の先輩方に感謝の気持ちが持てるようすることが大切です。
- 今回の題材をもとに、自分にできる地域貢献はないか、考えを広められるようにしたいものです。
- ビデオのデータは、DVDにまとめ、各小・中学校に1枚ずつ配布します。是非、ご活用ください。

「きれい、こんななんだつた、こんななんだつた」板書・発問例

思いやりとは…

- ・親切にすること
- ・やさしくすること
- ・相手のことを考えること



人を思いやるとはどういうことだろうか。

きれい、こんなんだつた、こんなんだつた

僕の気持ち

- ・ごみ拾いを境けてよかったです。
- ・おばあさんが喜んでくれてうれしい。
- ・これからもこの環境を守っていきたい。

もし自分たつたら…

ごみ拾いをする

ごみ拾いをしない

- ・自分たちの地域だから。
- ・自分ができること
- ・現実的に時間がない。

相手のことを考え、行動すること

人を思いやるとは…

- 資料を教師が読み、「思いやり」に関する場面に線を引かせる。
- 線を引いたところを発表させながら、あらすじを確認する。
- 「きれい、こんななんだつた、こんななんだつた」というおばあさんの言葉を聞いて、僕はどんな気持ちになったかを考える。
- ※ 個人でワークシートに自分の考えを書かせる。
- ※ ペア（グループ）をつくり、意見を交流させる。
- ※ ペア（グループ）で話題になつたことを発表させせる。
- 資料から離れて、自分のこととして考えさせる。「もし自分だったら…・・・ごみ拾いをする、しない」考え方を発表させ、意見を交流させる。
- ※ なぜそう考えるのか、理由をしつかり発表せるようにする。
- 資料の主人公のビデオを見せ、感想を発表させる。
- ※ 自分の考えとの比較を通して感じたことや新たに考えたことなどを発表させるようにする。
- 授業の感想を書かせる。



資料から離れて、自分のこととして考えさせる場面では、それそれが判断した理由に注意深く関心を払うようになりますが大切です。

特に「しない」場合の理由こそ「現実的に考えてできない」と判断している場合が多く、その場合も「地域に貢献しよう」とする姿勢や気持ちは持っている場合が多いです。「地域を大切にしたい」という気持ちをクラスで共有できるような展開にしたいものです。



導入については、学級の実態に応じて行なうことが望ましいです。

例)

- アンケートの結果の発表（例えば、友達に言われて嫌だった言葉など）
- 相手からの「思いやり」を感じ、うれしかった経験についての発表
- 学級で起こった出来事についての意見交換